

トップベース工法設計資料

2006年7月

全国マイ独楽工業会

〒299-4504 千葉県いすみ市岬町桑田1271

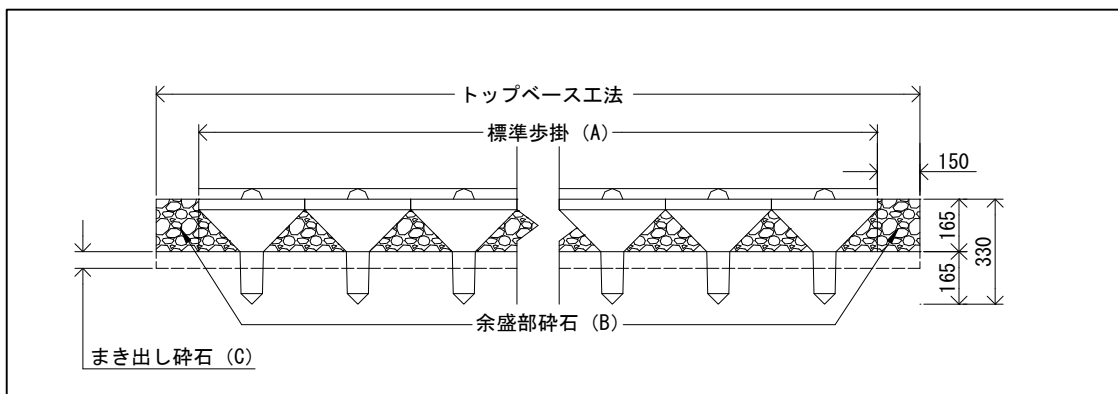
tel.0470-87-6385 fax.0470-87-6386

E-mail:topbaseworld@mykoma.com

[http://www//mykoma.com](http://www.mykoma.com)

トップベース工法 330型(単独) 設計基準例

【設計における条件断面図】



【設計(A)標準歩掛】

(10㎡当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽	コンクリート製品 330型	個	90			9個/㎡
世話役		人	0.45			
特殊作業員		人	0.90			
普通作業員		人	1.80			
間詰砕石工	40-0mm(ブロック充填部)	㎡	0.96			材工共
筏マット	D10	個	90			加工品
筏ユニオン	鉄筋加工組立 D10	kg	33.3			材工共
計						
1㎡当たり						

(本歩掛は、建設省土木工事積算基準平成7年度版U型側溝L600mm(人力施工)10m(長さ)より算出しています。)

注1)間詰砕石量は、砕石厚16.5cmを基準としています。

注2)施工状態を考慮し、必要に応じてトラッククレーン等を計上してください。

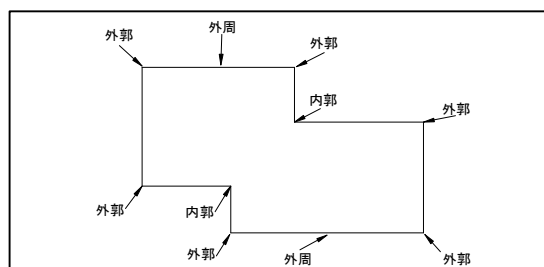
注3)参考重量はV×2.3で330型19kgとしています。

【設計(B)余盛部砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部砕石工	40-0mm(ブロック外周余盛部)	㎡				材工共

※数量計算式

[外周延長+(外郭個所数×0.15m)-(内郭個所数×0.15m)]×0.15m×0.165m



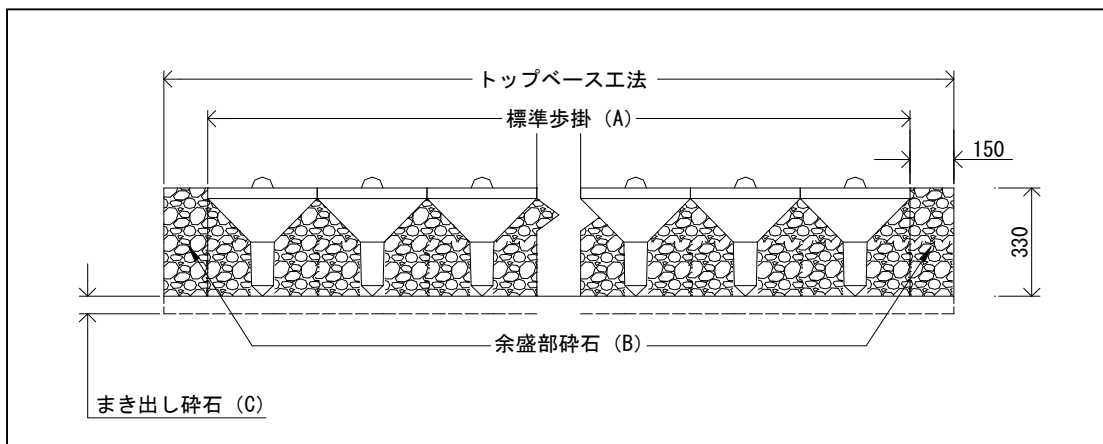
【設計(C)まき出し砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し砕石工	40-0mm	㎡				材工共

注1)作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。

トップベース工法 330型(単独) 設計参考例 (砕石が軸脚先端まで撒き出す)

【設計における条件断面図】



【設計(A)標準歩掛】

(10㎡当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽世話役	コンクリート製品 330型	個	90			9個/㎡
特殊作業員		人	0.45			
普通作業員		人	0.90			
間詰砕石工	40-0mm(ブロック充填部)	㎡	2.57			材工共
筏マット	D10	個	90			加工品
筏ユニオン	鉄筋加工組立 D10	kg	33.3			材工共
計						
1㎡当たり						

(本歩掛は、建設省土木工事積算基準平成7年度版U型側溝L600mm(人力施工)10m(長さ)より算出しています。)

注1)間詰砕石量は、砕石厚33cmを基準としています。

注2)施工状態を考慮し、必要に応じてトラッククレーン等を計上してください。

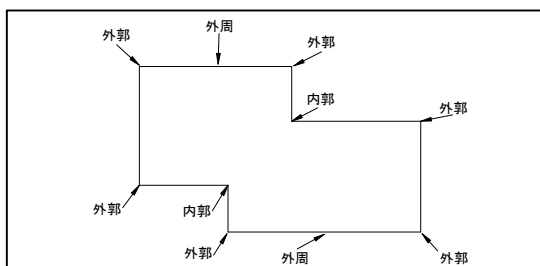
注3)参考重量はV×2.3で330型19kgとしています。

【設計(B)余盛部砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部砕石工	40-0mm(ブロック外周余盛部)	㎡				材工共

※数量計算式

[外周延長+(外郭個所数×0.15m)-(内郭個所数×0.15m)]×0.15m×0.165m



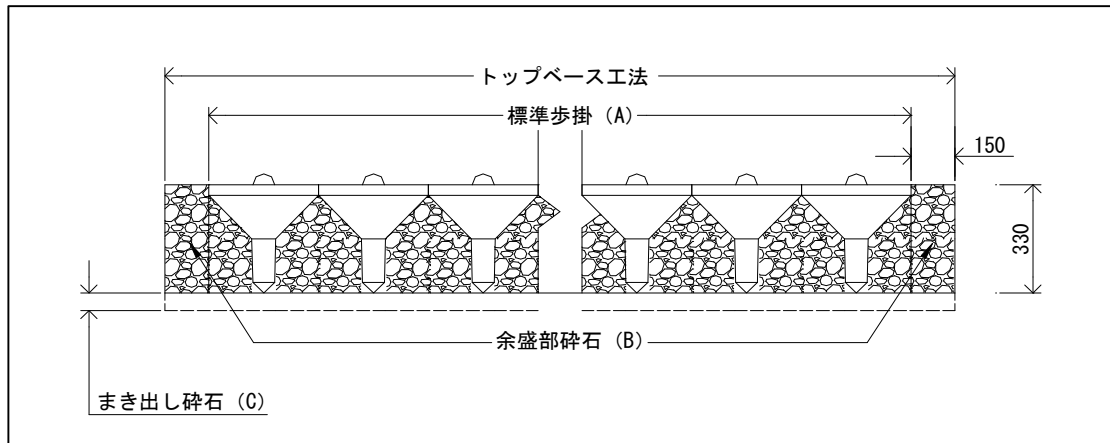
【設計(C)まき出し砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し砕石工	40-0mm	㎡				材工共

注1)作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。

トップベース工法 330型2×3(6連) 設計基準例

【設計における条件断面図】



【設計(A)標準歩掛】

(10㎡当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽	コンクリート製品2×3(6連)	基	15			
世話役		人	0.10			
ブロック工		人	0.20			
特殊作業員		人	0.10			
普通作業員		人	0.40			
ラフテレーン クレーン運転	排気ガス対策型 油圧伸縮ジブ25t吊	日	0.20			
間詰碎石工	40-0mm(ブロック充填部)	㎡	2.54			材工共
計						
1㎡当たり						

(本歩掛は、国土交通省土木工事積算基準平成17年度版P68の歩掛を参考にしています。)

注1)間詰碎石量は、碎石厚33cmを基準としています。

注2)本歩掛は、トップベース工法330型2×2(4連)についても適用できるものとしています。

注3)参考重量はV×2.3で330型6連115kg、4連76kgとしています。

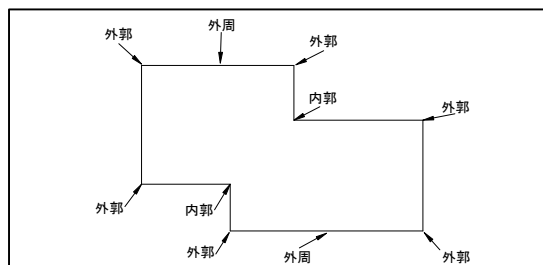
注4)2層の場合は本表数量の2倍としています

【設計(B)余盛部碎石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部碎石工	40-0mm(ブロック外周余盛部)	㎡				材工共

※数量計算式

[外周延長+(外郭個所数×0.15m)-(内郭個所数×0.15m)]×0.15m×0.33m



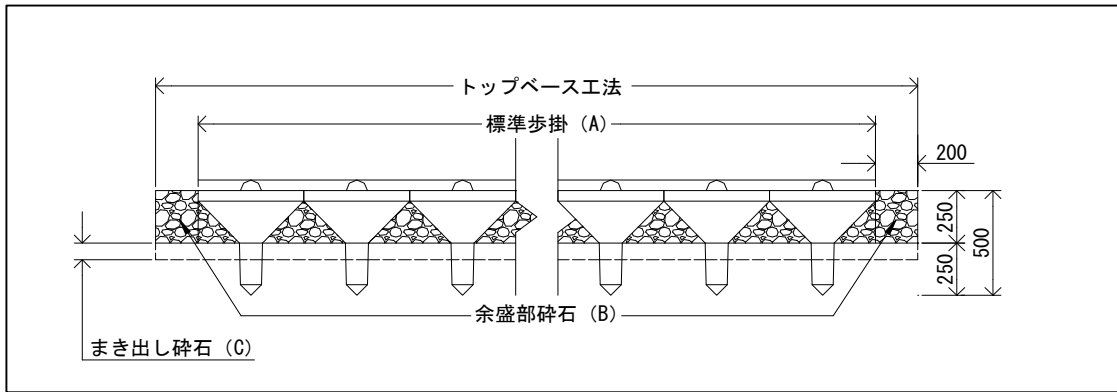
【設計(C)まき出し碎石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し碎石工	40-0mm	㎡				材工共

注1)作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。

トップベース工法 500型(単独) 設計基準例

【設計における条件断面図】



【設計(A)標準歩掛】

(10m²当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽	コンクリート製品 500型	個	40			4個/m ²
世話役		人	0.40			
特殊作業員		人	0.80			
普通作業員		人	1.60			
間詰砕石工	40-0mm(ブロック充填部)	m ³	1.46			材工共
筏マット	D13	個	40			加工品
筏ユニオン	鉄筋加工組立 D13	kg	39.8			材工共
計						
1m ² 当たり						

(本歩掛は、建設省土木工事積算基準平成7年度版U型側溝L600mm(人力施工)10m(長さ)より算出しています。)

注1)間詰砕石量は、砕石厚25cmを基準としています。

注2)施工状態を考慮し、必要に応じてトラッククレーン等を計上してください。

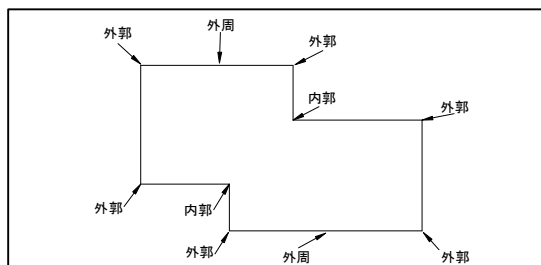
注3)参考重量はV×2.3で500型64kgとしています。

【設計(B)余盛部砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部砕石工	40-0mm(ブロック外周余盛部)	m ³				材工共

※数量計算式

[外周延長+(外郭個所数×0.2m)-(内郭個所数×0.2m)]×0.2m×0.25m



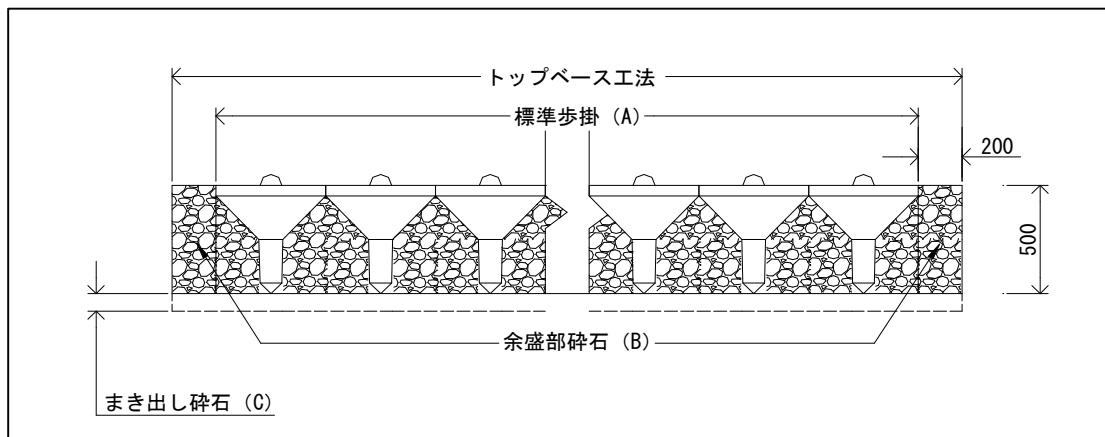
【設計(C)まき出し砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し砕石工	40-0mm	m ³				材工共

注1)作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。

トップベース工法 500型(単独) 設計参考例 (砕石が軸脚先端まで撒出す)

【設計における条件断面図】



【設計(A)標準歩掛】

(10m²当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
マイ独楽	コンクリート製品 500型	個	40			4個/m ²
世話役		人	0.40			
特殊作業員		人	0.80			
普通作業員		人	1.60			
間詰砕石工	40-0mm(ブロック充填部)	m ³	3.89			材工共
筏マット	D13	個	40			加工品
筏ユニオン	鉄筋加工組立 D13	kg	39.8			材工共
計						
1m ² 当たり						

(本歩掛は、建設省土木工事積算基準平成7年度版U型側溝L600mm(人力施工)10m(長さ)より算出しています。)

注1)間詰砕石量は、砕石厚50cmを基準としています。

注2)施工状態を考慮し、必要に応じてトラッククレーンを計上してください。

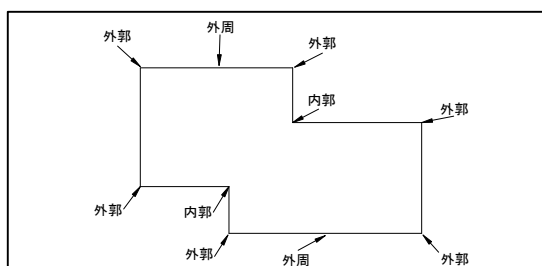
注3)参考重量はV×2.3で500型64kgとしています。

【設計(B)余盛部砕石工】

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
余盛部砕石工	40-0mm(ブロック外周余盛部)	m ³				材工共

※数量計算式

[外周延長+(外郭個所数×0.2m)-(内郭個所数×0.2m)]×0.2m×0.25m



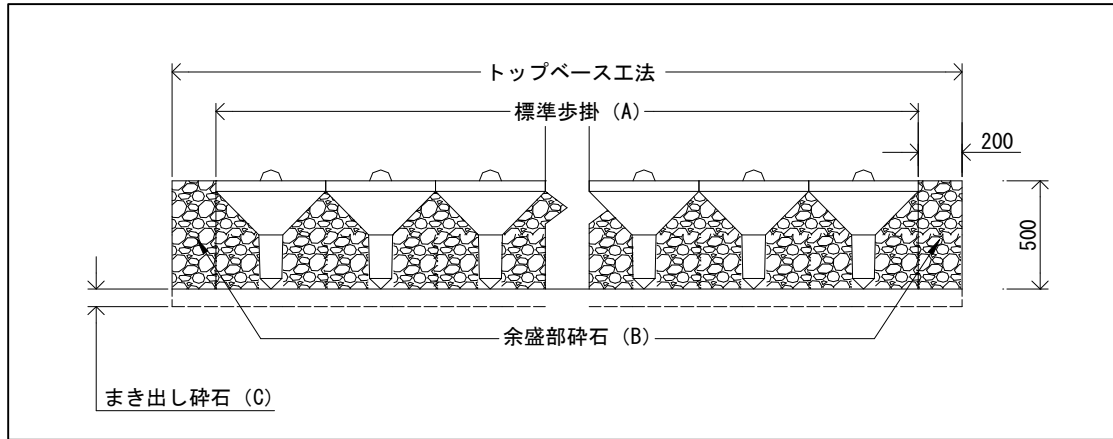
【設計(C)まき出し砕石工】

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	適 用
まき出し砕石工	40-0mm	m ³				材工共

注1)作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。

トップベース工法 500型2×3(6連) 設計基準例

【設計における条件断面図】



【設計(A)標準歩掛】

(10㎡当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽	コンクリート製品2×3(6連)	基	6.66			
世話役		人	0.10			
特殊作業員		人	0.10			
ブロック工		人	0.20			
普通作業員		人	0.20			
ラフテレーン クレーン運転	排気ガス対策型 油圧伸縮ジブ25t吊	日	0.10			
間詰砕石工	40-0mm(ブロック充填部)	㎡	3.85			材工共
計						
1㎡当たり						

(本歩掛は、国土交通省土木工事積算基準平成17年度版P68の歩掛を参考にしています。)

注1) 間詰砕石量は、砕石厚50cmを基準としています。

注2) 本歩掛は、トップベース工法500型2×2(4連)についても適用できるものとしています。

注3) 参考重量はV×2.3で500型6連394kg、4連261kgとしています。

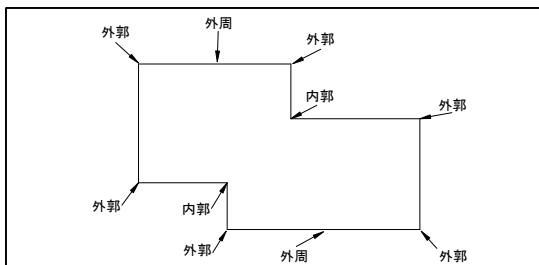
注4) 2層の場合は本表数量の2倍としています

【設計(B)余盛部砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部砕石工	40-0mm(ブロック外周余盛部)	㎡				材工共

※数量計算式

$[(\text{外周延長} + (\text{外郭個所数} \times 0.2\text{m}) - (\text{内郭個所数} \times 0.2\text{m}))] \times 0.2\text{m} \times 0.5\text{m}$



【設計(C)まき出し砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し砕石工	40-0mm	㎡				材工共

注1) 作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。